尾道市の財政状況をお知らせします

平成28年度決算（見込み）

※表示未満の端数を四捨五入しているため、金額・構成比は合計値に合致しない場合があります。

問財政課（☎0848-38-9323）

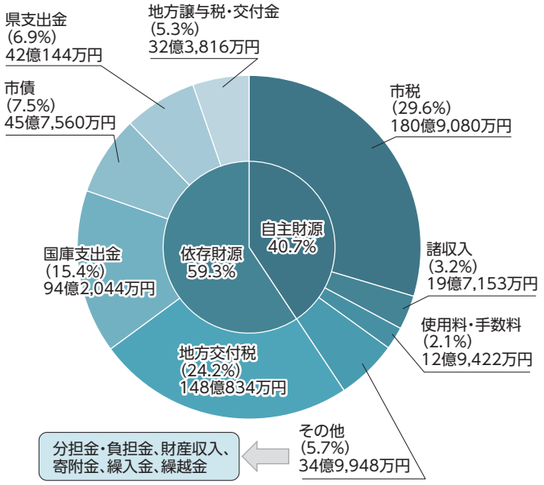
一般会計決算（見込み）

福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計です。

歳入 611億円 － 歳出 599億9,735万円 ＝ 差引 11億265万円

（前年度比－8,776万円）

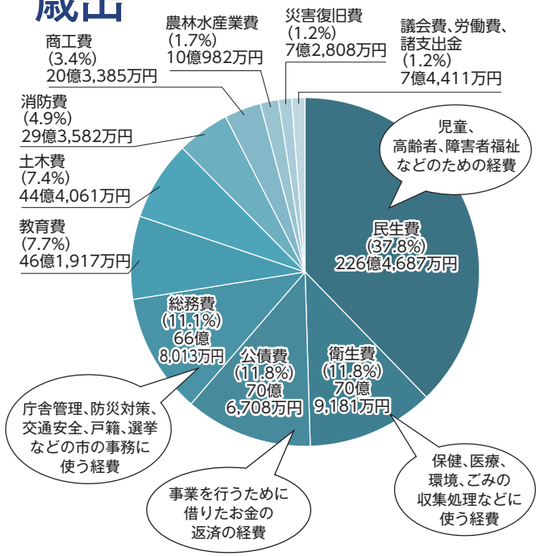
歳入



歳入は、国・県支出金や災害復旧事業対応のための財政調整基金からの繰入金が増加しましたが、地方交付税や市税、地方消費税交付金などの各種交付金、臨時財政対策債などが大きく減少した影響もあり、前年度と比較して**１億415万円**減少しています。

自主財源の柱となる市税収入は180億9,080万円で、法人市民税の減収などにより、４億2,198万円減少しています。

歳出



歳出は、因瀬クリーンセンター整備事業、平成28年６月の豪雨災害の災害復旧事業などの増加がありましたが、消防救急無線デジタル化事業などの終了による減少、退職者の不補充などによる職員数の減に伴う人件費の減少などにより、前年度と比較して**1,640万円**減少しています。

市民の負担とサービスの状況

市民１人当たりの市税負担額

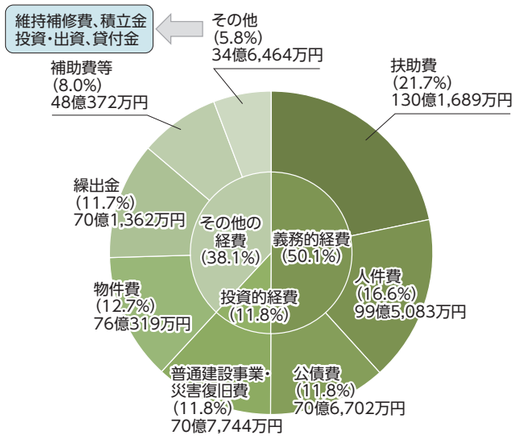
市民１人当たりのサービス額

市税のほかに国や県からの補助金などを活用して、行政サービスを実施しました。

※（　　）内は、前年度比。

※平成29年３月末住民基本台帳人口140,381人で計算。

歳出を性質別に見てみると･･･



平成28年度の予算は主にこのようなことに使われました

因瀬クリーンセンター整備事業
12億6,882万円

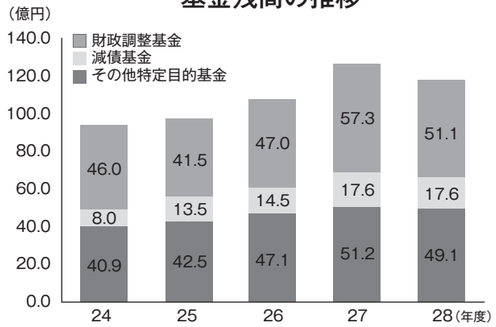
因島消防署瀬戸田分署建設事業
４億8,895万円

庁舎整備事業
（本庁・因島総合支所・百島支所・御調支所）
２億6,707万円

私たちのまち"尾道"の財政状況を見てみましょう

※普通会計の数値で作成しています。

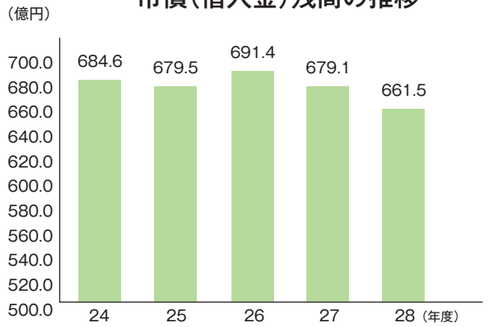
基金残高の推移



平成28年度末現在　基金残高 117億7,654万円

市は災害や市税収入の減少などに備えて基金を積み立てています。基金現在高は、前年度より８億3,358万円減少しています。

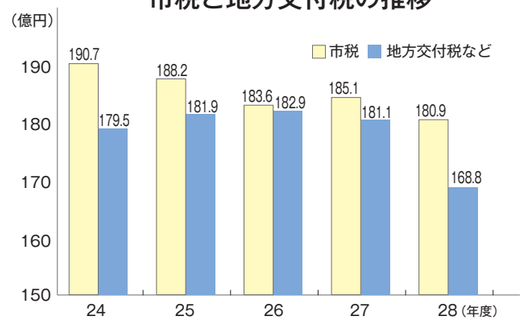
市債（借入金）残高の推移



平成28年度末現在　市債残高 661億4,877万円

借入金（市債の発行）を抑制することにより、市債残高は前年度より17億5,973万円減少しています。

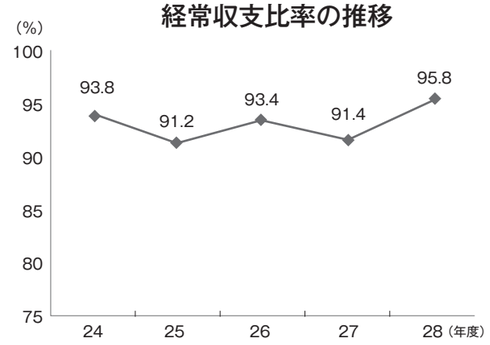
市税と地方交付税の推移



平成28年度　市税 180億9,080万円
地方交付税など 168億8,374万円

市税収入、地方交付税など（実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの）ともに減少しました。

経常収支比率の推移



平成28年度末現在　経常収支比率95.8%

家計でいえば、毎月得られる給料などのうち、食費・光熱水費・ローンの返済など毎月決まって支払う生活費が占める割合のことです。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬直化していることを表します。平成28年度は、前年度より４.４ポイント悪化しました。

用語の説明

普通会計	他市との財政比較を行うための統計上の会計。尾道市では、一般会計に港湾事業特別会計、夜間診療所事業特別会計を合わせたもの
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
地方交付税	自治体の財政状況に応じて交付される国からの財源
臨時財政対策債	国税収入が減少し、普通交付税を配分する財源が不足した場合、その不足分を補うために発行する市債
市債	事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金